

3. リニューアル工事等による走りやすさ向上の取り組み

○走りやすい舗装への全面打ち替え

11/10~20の環状線南行きリニューアル工事において
97,000㎡（うち73,000㎡排水性舗装）を実施。
環状線区間 補修率 97%を達成

○橋の継ぎ目による段差の解消

11/10~20の環状線南行きリニューアル工事において
203レーンのジョイント補修を実施。
8レーンについてはノージョイント化を実施。

○道路案内の分かりやすさの向上

(1) 本線分岐を分かりやすく：方面案内のわかりやすさを重視した標識レイアウト



分岐側路線のルートマーク色を反転（環状線と区別しやすく）



分岐方面に向かう車線を下向き矢印で表示
（走行中車線の方面を分かりやすく）

(2) 出口分岐を分かりやすく：直感的にわかりやすいよう出口にカラー舗装等



分岐予告からカラー矢印を採用



カラー舗装とカラー矢印
を連動させて分岐を
分かりやすく

